



社会に役立つ物を 金属加工の技術で支える。

そこで重要になるのが、良いモノをつくるための工程を管理する「品質管理」です。

同社では、品質管理の取り組みとして、従業員が仕事のプロセスを明確に把握できる独自の生産管理システムを導入し、作業の効率化とモチ

タブレット端末を活用した 効率化とモチベーション向上

と阿部社長は熱く語ります。

厳格な品質管理が求められる ものづくり現場

「ものづくりの技術は、時代とともに絶えず変革を繰り返し、現在に至るまで続いています。これからの未来も当然のように変化していくのだと思います。私たちが求められることは、社会に必要とされるものを安心・安全に提供することです。どんなに優れた技術があっても、それだけでは十分ではありません。その技術を支え続けるために、厳格な品質管理が求められます。これまで製造業は最新の工作機械の有無が重要な要素でしたが、現在は設備面だけの差別化が難しくなり、企業の真の実力が問われる時代になっています」

ベーションの向上を図っています。このシステムは、従業員全員に配布しているタブレット端末により、「誰が」「どの工程をいつ」「どの機械で行った」などといった情報を集約しています。工程の進捗状況や完成品の情報をいつでも把握することができ、顧客からの修正依頼にも迅速に対応することができるようになりました。

しかしながら、こうしたシステムを導入しても、製品に不良が発生したり、顧客の要求基準に満たない部分が出てきたりすることもあるそうです。

そこで同社では、品質管理において重要な「人材」であるという考えのもと、システムだけでなく、やりがいを見つけられる環境づくりも推進しています。具体的には、従業員のスキルアップと工作機械の安全使用を促進するための人事評価制度を導入しています。各部門のリーダーが4段階でスキルや知識を評価し、スキルを見える化することで、従業員のレベルに合わせた指導・教育を行うことができます。そうすることで、工作機械の特性に対する理解度を向上させるとともに、従業員一人ひとりの目標が明確になり、意欲向上を図ることができま



▲タブレット端末で情報を集約



◀紹介企業のホームページはこちら

「これからは航空・宇宙分野をはじめ、医療、半導体など、新しいことにチャレンジしていきたいです。社会が必要としているもの、役立つものを金属加工の技術で支えたいという思いがあります。良い製品の提供に全力を尽くし、必要とされる企業であり続けたいです」

と語る阿部社長は、燕市のものづくり産業を未来へつないでいくために、従業員とともに常に最前線で技術向上と品質管理に取り組み、新たな目標に向かって挑戦を続けています。

ものづくりを未来に つないでいくために



特集

ものづくりの未来を拓く品質へのこだわり

銀行端末のATM板金部品加工や装置部品などの精密板金加工を主に手がけている株式会社阿部工業。加工技術の品質向上のためさまざまな取り組みを進めている、同社の阿部社長（写真左）と生産管理部の破入友太さん（写真右）にお話を伺いました。

巻頭インタビュー
阿部 貴之さん
株式会社阿部工業
代表取締役社長

topics-----

- ①巻頭インタビュー（2・3ページ）
- ②市内企業の取り組み紹介（4・5ページ）
- ③品質管理とは何か？（6・7ページ）
- ④燕市の支援制度紹介（7ページ）